

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470105093		
法人名	医療法人 和同会		
事業所名	グループホーム元宇品		
所在地	広島県広島市南区元宇品26-20 (電話) 082-255-1239		
自己評価作成日	平成28年8月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470105093-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年9月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>広島シーサイド病院併設のグループホームで看護師が常勤しており、診療が必要な場合、24時間対応可能で、看取り介護も行っている。住み慣れたグループホームで最期を迎えたいという希望があれば対応可能である。また、月に1回の外出レク（外食・買物・季節を感じられるイベント…初詣・花見・平和記念公園慰霊碑への訪問・盆踊り）等、年間2回の家族との親睦会を企画・実践している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>このホームでは、「利用者の人格を否定せず、行動抑制を行わない」との考えにより、外に出たい利用者に対して行動を抑制せず、職員が見守るよう取り組んでいる。食事は3食とも職員の手作りで、利用者が下準備などを手伝うこともある。また、月に1回程度、外食を行い、年に2回、利用者・家族・職員が参加する食事会が開催され、家族の意見を聞いている。利用者ごとに担当を決め、ケアプランのモニタリング結果を家族に報告、相談し、ケアプランの見直しを行っている。病院との連携により、24時間の医療対応が出来る体制が整い、看護師が常勤で配置され、利用者の体調不良時にも迅速に対応している。また、要望があれば、看取りを行う方針で、今までにも看取りの事例がある。</p>
--

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事務所内に掲示している。理念を基に、日々のケア内容を計画・実施している。	法人理念は、事業所に掲示されている。法人理念の下に、事業所の年間目標を職員と面談して定め、年度末に達成度を評価している。しかし、年間目標を達成するための個人目標は作成されていない。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2ヶ月に1回、運営推進会議を実施している。また、町内運動会を観覧し、毎年恒例のプリンスホテル広島での盆踊り大会にも参加している。	地域主催の「盆踊り大会」に利用者が参加し、交流している。地域のボランティアが毎年来所して、手品を披露している。地域のグループホームとの年1回の交流会を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザーの資格保有者が在籍している。認知症の介護・暮らし・最期の迎え方などについて、運営推進会議などで話し合っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者の動態・ヒヤリハット報告・行事報告・行事予定などを報告している。家族や町内会の方々の意見を取り入れ、サービスの向上に努めている。	地域包括支援センター、町内会長や民生委員、家族が参加し、運営推進会議が開催されている。会ではヒヤリハットに対する質疑応答が行われ、出席者の提案を外出行事に活用している。より多くの家族が会議に参加するように、議事録をグループホームの入り口に備え置いたり、食事会で参加の要請を行っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の日程の報告や、実施後には、報告書を広島市に提出している。	運営推進会議で地域包括支援センター担当者と意見交換している。また、今後は、市認知症地域支援推進委員の運営推進会議への出席を願い出て、認知症アドバイザーとして地域包括支援センターの行事に協力したいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回、身体抑制廃止推進委員会に出席し、グループホーム内にて会議内容の報告をしている。それに基づき、グループホーム内カンファレンスを実施し、身体拘束制廃止に取り組んでいる。</p>	<p>法人が主催する「身体抑制廃止推進委員会」に管理者が出席し、会で協議される「事例検討や身体抑制改善策」をグループホームの運営に活用している。外出希望の利用者に対して、外に出ることを抑制せず、スタッフが見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>グループホーム内で勉強会を行い、虐待防止の理解を深めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>グループホーム内で勉強会を行い、成年後見制度に関する理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には書面にて説明を行い、納得を得てから同意をもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御家族との面会時に職員が声掛けし、不満・苦情・その他の意見を受け付ける体制を整えている。また、親睦会の開催後には、アンケートを実施し、意見をもらっている。不満や意見を頂いた際は、カンファレンスを開催し、早急に改善策を立てている。</p>	<p>年に2回、利用者・家族・職員が参加する食事会で、家族の意見を聞いている。また、会の後でアンケートを実施しているが、食事会に関する意見が多く、サービスへの意見や苦情は寄せられていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日のミーティングを実施し、意見や要望が言いやすい雰囲気を作っている。聞いた意見・要望はミーティングで話し合い、反映出来るように配慮している。	毎日の申送り、毎月のユニットカンファレンス、グループホーム会議で職員の意見を聞いている。職員の意見により、利用者を見守る職員が居ることを確認してから、居室での食事介助行うよう改善し、職員の休憩時間についての協議も行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	向上心を持って働ける様に、各職員の能力に見合った役割（業務担当）を、振り分けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会に参加してもらい、出席者にはグループホーム内で、伝達講習を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町内のグループホーム交流会に参加し、意見・情報交換を行っている。得た意見・情報を持ち帰り、職員に伝達し、当グループホームのサービス向上に繋がるよう努力している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用申込みの時点で、ご本人の見学を勧めている。事前にグループホーム内を見てもらう事で、安心して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用申込みの段階から、グループホームの特徴や説明を、丁寧に分かりやすくしている。個別の要望にも、柔軟に対応出来る事を伝え、安心感を持って頂けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用の段階で、本人、家族に必要なサービスがグループホームの外部で考えられる場合、法人内の居宅介護支援事業所のケアマネージャーに相談し、助言を得ている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>可能な利用者と一緒に、洗濯・掃除・ゴミ捨て・おやつ作りなどを行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には、日々の様子をお伝えしている。外出行事の声掛け、家族参加型の親睦会も定期的に開催している。玄関先に、外出先・日時・外出者名をプリントし、掲示している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族・友人等の面会、外出を、可能な限り自由に行ってもらっている。</p>	<p>今まで利用している美容室へは、家族に同行してもらい、友人が来所された際には、ゆっくりと話が出来るように、居室に案内している。また、家族への年賀状作成時には、職員が手助けしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関わりが円滑になるよう、食堂の席や、レクリエーション等の活動グループ分けに配慮している。状況により、席の配置替えを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	法人内に入院した場合など、面会・お見舞いを行っている。また、必要に応じて、電話連絡もしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人・家族の意向を確認するために、コミュニケーションが図りやすい環境などの工夫をしている。	日常会話から把握した利用者の「思い」は、「ケース記録」に記載し、職員間で共有している。その後、ユニット会議で協議し、必要があればケアプランに取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始時に、過去の生活・家族・仕事・既往歴等をお聴きし、確認している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用開始時に確認しているが、流動的で変化しやすいので、その都度、カンファレンス等で状況を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画作成にあたりアセスメントを行い、家族の要望を聴き、目標を設定している。目標達成のためのケア内容を、カンファレンスで話し合っている。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、家族に意見・要望・満足度を確認している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、担当者はケアプランのモニタリングをケアマネジャーと行い、結果を家族に報告している。担当者とケアマネジャーは、ケアプラン案を作成し、ケアカンファレンスで職員と協議し、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子は、カルテ内の介護の記録、月に1度、介護経過の記録、3ヶ月毎のモニタリングを記録し、職員間で情報の共有をしている。ケアの内容が十分でない場合、その都度カンファレンスで修正し、実践面に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の思いを尊重し、ケアに取り組んでいます。食事や入浴等の日常生活に関する事や、面会の要望・外出・外泊など、出来る範囲で柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>行事などのレクリエーション時には、ボランティアに依頼し、音楽（マンドリン）、手品、踊り（フラダンス）を鑑賞してもらっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に、かかりつけ医による診察を支援している。日々の健康管理は、グループホームに常勤の看護師が行っており、利用者の状態を報告している。</p>	<p>本人と家族の要望で、かかりつけ医を決めている。グループホームの協力医をかかりつけ医としている利用者が多く、利用時にグループホームの協力医についての説明を行っている。利用者の体調不良時は、常勤の看護師や法人の看護師が医師に連絡し、対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	日々、利用者の状態をグループホーム内の常勤の看護師と共有し、支援を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は、協力医療機関のグループホーム担当医が、主治医や入院先への情報提供を行っている。入院期間中は、利用者の容態等の情報が定期的に得られるように、退院時に再利用が可能な状態かを確認している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	契約時に、本人・家族から重度化した際の要望を聞いている。本人・家族と話し合い、リビングウィルの確認を行い、今後の方針を決定している。治療を希望される場合は、入院の支援を、グループホーム内の看取りを希望される場合は、十分な説明・同意を得て計画書を作成し、看取り介護を実施している。	利用時に、重度化した際の要望を聞いている。グループホームとしては、要望があれば、看取りを行う方針である。重度化した際には受診し、医師の意見により、看取りが必要であれば、家族と協議のうえ方針を決定し、支援している。看取りに関し、職員への研修、分かりやすいマニュアルの作成、提示等の取り組みを行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルに沿って対応するように、指導している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	災害発生時には、マニュアルに沿って対応するよう指導している。消防署の協力を得て、年2回、法人全体で避難訓練を実施している。また、グループホーム独自でも、年に1回、避難訓練を実施している。その様子もグループホーム内に掲示する事で、避難誘導の経路・方法について再確認している。	年に2回、消防署立ち会いの下に、法人全体の避難訓練を行っている。グループホーム独自の避難訓練を年1回行い、利用者も参加し、避難の方法や避難経路を確認している。火災・災害に対して、隣接する病院と協議し、連絡・協力する体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	グループホーム内の勉強会を実施し、日々のケアで実践している。	「人権に関する勉強会」を年1回行っている。また、「利用者の人格を否定せず、行動抑制を行わない」との考えを、職員に徹底している。利用者の敬称については、家族と相談し、馴れ馴れしい関係にならないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	回答を閉ざすような質問ではなく、利用者が選択できるような声掛けを行っている。自己決定出来ない方に関しては、生活歴や家族・スタッフの情報を基に検討している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決められた時間で区切らず、その方のペースに合わせ、個々の意志を尊重している。また、趣味や習慣など、出来る限り希望を取り入れ、納得いく生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の整容は、声掛け・さりげない見守り等の支援を行っている。外出時には、メイクや洋服選びの手伝いをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前には、レクリエーションを兼ねた口腔体操を、皆で食堂で行っている。食事は1人ひとりの嗜好が出来る限り取り入れられるよう、メニューや食事形態を決めている。食事は3食共、職員が手作りで提供している。イベントでは、利用者と一緒におやつ作りをする事もある。	食事の献立は、予め決められているが、3食とも職員の手作りで、利用者が手伝うこともある。行事食は利用者の要望による献立とし、お菓子づくりは利用者が積極的に参加している。月1回程度、外出に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>嚥下の能力・覚醒状態を把握し，日々の食事・水分形態を変えている。一定の摂取量が確保できない場合は，補食として，ゼリーをおやつの時間に提供するなど工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，歯磨き・うがい・義歯洗浄の支援を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各居室にトイレを設置している。各利用者の排泄パターンを把握し，トイレ誘導を実施している。食前，食後など，定期的にトイレ誘導を行い，排泄表を用いて，排泄の有無の確認をしている。</p>	<p>利用者の排泄パターンを理解し，トイレ誘導を行っている。車いす利用の全介助利用者でも，なるべくトイレに移乗して，排泄する取り組みを行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘症の方には，緩下剤の処方をもっている。水分摂取とバランスの取れた食事を提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は，週3回（月・水・金），時間帯も午前・午後の2回に分け，利用者の状態に合わせている。入浴の苦手な方に対しては，声掛け方法や，タイミングの工夫・対応の職員を変え対応している。また，入浴剤を使い，入浴を楽しめるようにしている。</p>	<p>週3回，入浴するようにし，利用者の要望で入浴時間を決めている。入浴嫌いな利用者に関しては，家族の協力をお願いしたりと，色々工夫して，入浴して頂いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>個別の休息時間を計画し、無理 のない生活が送れるように支援 している。また、明かりや温度 調整等の環境を整え、安眠で きる工夫をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬は職員が管理している。また 、薬情報ファイルを作成してい る。内服の変更があれば、連絡 ノートに記載している。また、 ミーティングでの申し送りも、 併せて行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>洗濯物干し・洗濯たみ・掃除・ 食事の配膳など、能力に応じ行 ってもらっている。また定期的 に外出し、レクリエーションや 散歩に出掛け、気分転換をし てもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>年間計画を立て、外出している 。本人の希望に沿って、気分 転換に散歩に出掛けている。家 族の協力を得ながら、食事会 やホテルでの盆踊りなど、外 出可能な利用者が、屋外に出 掛けられるよう支援している。</p>	<p>花見などの遠出や、外食などの 外出行事は、年間計画を立て、 実施している。外出予定は予 め家族に伝え、家族が参加し やすいように配慮している。病 院の売店への買い物、近辺の 散策を行い、介護度の高い利 用者に対しては、花壇の見学 や水やりを行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>利用者は現金の所持はしてい ない。買い物や外食の際には、 能力に応じて支払いなどを行 ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目<<ユニット1>>	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があった時に支援している。また、家族に向け、毎年、年賀状を出している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節毎にグループホームの飾付けを変更し、季節感が感じられるように配慮している。また、照明の明るさ、室温なども心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	<p>室内の温度や湿度管理を徹底し、快適な環境となるように配慮している。利用者の関心のある「カーブ写真や新聞記事」、利用者と一緒に作成した作品、行事の写真などを掲示している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合う利用者同士が、同テーブルになるように配慮している。また、畳や長椅子を設置し、思い々に過ごせる様に配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していた物等を持参して頂き、出来るだけ自宅の雰囲気近づけるようにしてもらっている。</p>	<p>本人が使用していた家具などを持ち込み、家族写真、マッサージの道具、人形など、利用者が寛げるように工夫して、居心地よく過ごせるよう取り組んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下に手すりを設置している。また車イスでも十分に移動できるスペースを確保している。脱衣所には滑り止めマットなど、利用者が安全に行動できるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット1	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム元宇品

作成日 平成28年10月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流が少ない	ボランティアの回数増加	グループホームに来る実習生に声掛けを行いボランティア参加を募る	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。